

令和6年度 学校評価報告書

1 今年度の重点目標

1. 生徒の主体的な学びの実現に向けたICT活用及び授業改善 2. 地域と支え合うキャリア教育の推進 3. 持続可能で、より魅力にあふれた部活動の推進
4. 「チーム市立柏」による組織的教育力・指導力の向上 5. 勤務時間やワークライフバランスを考慮した働き方の推進
6. 地域・家庭とともにある学校づくりの推進

2 自己評価(今年度の重点目標、重点方策、「4つのC」の取組の重点等に対する自己評価)

・キャリア教育の推進について、今年度も引き続き1学年を対象に3回の講演を行い、OBやOGの他、大学教授や社会人講師を招いて、自己のキャリア形成のために高校時代にしておくべきことなどについて話をしてもらった。また、全校生徒を対象に夏季休業の期間にインターンシップを行い、35名の生徒が参加したが、昨年度の44名から9名減少した。ただ、学校評価アンケートの進路指導に関する項目は、生徒・保護者・職員すべてで3.0以上という高い水準を保っており、進路指導部やキャリア教育総合探究委員会等の取組の成果がみられる。今後は、インターンシップについては日程や事業所の拡大等、より生徒が参加しやすい環境を整えていきたい。

・学習指導では、市から無償貸与されたタブレット端末を活用し、資料や生徒の意見を共有したり、インターネットを活用した調べ学習を行ったりするなど、ICT活用に取り組んでいる。また、職員公開授業週間を通して、お互いの授業を見合う機会を作り、意見を交換しあうことにより、授業力の向上に努めている。学校評価アンケートの学習指導に関する項目では、すべての項目で昨年度より僅かに減少しているが、生徒の先生たちへの評価は3.1以上を保っている。ただし、生徒の「教科に関する興味関心や学力が向上しているか」については、2.97で、教員の授業の工夫や熱意が生徒の学力向上につながきれていないことも伺える。

・生徒指導に関する項目については、ルール・マナーについての説明や指導に関する項目で3.1以上の評価を得ている。その一方で、職員の評価では該当する2項目とも2.8以下となっており、一部の先生が指導を担っていることも伺える。学校の組織力に係る教職員の連携については、「チームイチカシ」としての意識を職員全員で共有し、連携を図りながら教育活動に取り組んでいく必要がある。

・保護者・地域等の項目について、保護者からは「本校に入学させて良かったと思うか。」という項目で、3.24の評価をいただいている。今後も保護者・地域から求められる学校として教育活動を進めていきたい。

3 学校関係者評価

キャリア教育について、今後の進路を見極めるためにも多くの企業等の協力が必要かと思う。様々な機会を通じて自らが今後を考えられるようになってほしい。部活動が中心となりがちではあるが、学業とのバランスを保ちつつ、部活動を通じた人間形成ができるよう期待している。

4 次年度に向けての改善方策

・学校運営協議会や地域と連携したインターンシップを推進し、本校のキャリア教育の更なる充実を目指す。

・クロムブック活用推進委員会によるタブレットの活用方法の紹介や研修等を通し、市からの無償貸与であるタブレット端末を活用し、深い学びや個別最適な学びに繋がる授業づくりを目指す。

・本校の部活動方針に則った活動を推進し、学習と部活動のバランスのとれた学校生活を送ることができる魅力ある学校づくりを行っていく。

・登下校時を含め、生徒の交通事故を減らすため、自分ごととして捉えることのできる講習会や指導を行い、安全教育を推進する。

・生徒会を中心に生徒主体の校則見直しにより、自主的な校則遵法の精神を養う。